

令和2年度京都広報賞受賞作品の概要 (別紙)

広報紙・市の部

福知山市 広報ふくちやま 10月号

知事賞



(審査委員講評)

全体を通してストレスなく読み通せるディレクションができており、大変読みやすいです。第一特集の企画意図をもう少し説明してもよかったのではないのでしょうか。市民を巻き込み、メディアをミックスさせながら発信拡大する工夫は秀逸です。

会長賞

京都市 きょうと市民しんぶん 9月1日号



(審査委員講評)

市の抱える問題抽出～課題解決のための情報提供が意図的にできています。全体のトータルディレクションは秀逸である一方、それぞれの記事の性格によるトーン&マナーを意識できるともっと良くなると思います。

広報紙・町村の部

久御山町 まちの総合情報紙 広報くみやま 12月1日号



(審査委員講評)

右開き冊子の中の横書きで、セオリーは崩していますが、読みやすく工夫できていますね。トータルデザインコントロールも出来ていてストレスなく読み通せます。写真のチカラがUPするともっともっと良くなりますね。



宇治田原町 広報うじたわら「町民の窓」7月号



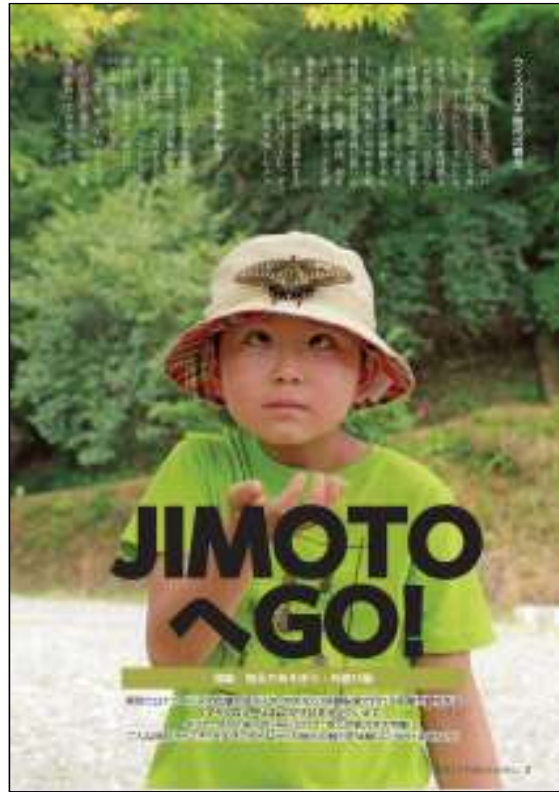
(審査委員講評)

新庁舎おめでとうございます。とても大胆な誌面なづくりですね。なかなか思いつかなかったですが、見取図を見ると、少しワクワク出来ました。また挟み込みの検診案内やカレンダーは簡単に残しておけるので便利ですね。

写真・1枚写真の部

知事賞

福知山市
広報ふくちやま
9月号2ページ
(吉良恭蔵さん)



(審査委員講評)

出来事はまさに奇跡。その奇跡を撮影者の力量で、正面からしっかりと捉えています。帽子センターのアゲハ蝶と男の子の表情や手の動きが絶妙で、レイアウトやキャプションも素晴らしいです。

会長賞

綾部市
広報あやべ ねっと
4号表紙
(大槻乃音香さん)



(審査委員講評)

美しい光の中で家族の自然な笑顔とミツマタの群生の様子が、あたたかな雰囲気です。広角レンズの効果も活かされ、次のシャガの見頃の布石にもなっていて、とても良い表紙です。

写真・組み写真の部

知事賞

福知山市 広報ふくちやま 10月号 6～7ページ (吉良恭蔵さん)



(審査委員講評)

すっきりとした爽やかな写真で見やすいレイアウトに仕上がっています。表紙との連動も素晴らしい。もうすこし大きく扱った写真が1点あっても良かったかと思えます。

会長賞

舞鶴市 広報まいづる 9月1日号 14～15ページ (谷直樹さん)



(審査委員講評)

丁寧なレイアウトが組まれており、キャプションも写真の邪魔をすることなく読みやすい紙面になっています。今後は撮影意図に合わせた絞りの調節にもトライしてみてください。

映像の部

知事賞

綾部市 未来へつなぐ平和都市 綾部



(審査委員講評)

世界連邦都市というキーワードだけで難しさを感じるが、市民が必ず目にしたことのあるモニュメントからスタートしている点が良い。目にしたことのあるモニュメントはどういう成り立ちで建てられた物なのか？市民にとって大きな気づきを生むきっかけになったと思う。昭和25年に全国に先駆けて宣言したことなど世界連邦運動について過去の資料を使用しながら、誰が見ても分かりやすい内容となっている。市民がこの映像を見て我が町を誇りに思える映像である。単に過去の歴史だけでなく、市の取り組みも紹介されており行政としての役割もPRされている点も素晴らしい。

会長賞

長岡京市 激動の人生を駆け抜けたガラシャの物語in京都長岡京



(審査委員講評)

過去、府内の市町村では見た事のない規模の再現ドラマ作品である。公開まで2ヶ月半のスケジュールでの制作は取材先調整など大変だったと思うが、日頃から関係性を築いているからこそ出来たのだと思う。出演者が全て市の職員ということも驚きである。

中途半端な内容だと批判が出るが歴史考証を小和田氏に依頼出来た点も大きい。

YOUTUBE配信の場合、市外の人も見るが、冒頭ガラシャ祭りの説明などしっかり説明されおり長岡京市とガラシャの関りが表現出来ている。

府民賞

福知山市 広報ふくちやま10月号

〈府民賞〉 府民から見た広報紙の読みやすさ、見やすさをWEB投票によって決定。



(主な意見)

明るい色遣いが良い。特集の内容がタイトルをみただけで一目瞭然なので読んでみたいという気持ちになる。ページ構成と、画像・文字のバランスがいい。ページ数が多いので、読みたいページがすぐわかる工夫があっても良いかと思いました。旅行雑誌みたいで読みたい。地元だからいかなかったりとか、知らなかったことを知れて、あらためて地元で観光や遊んだりしたいと思う内容。